第９号様式（第７条関係）　　（表）

会計整理票番号	2－10　番

政務活動費会計整理票

会派名	自由民主党議員団	議員氏名	小野田紀美
支出日	2015 年 2 月 12 日（木）		
項　目	調査研究費・研修費・資料作成費 資料購入費・広報費・広聴費 要請陳情活動費・会議費・人件費 事務所費・事務費	金　額	276,020　円
支出内容	区政報告レポート作成代 185,300円 （15,000枚） ポスティング代 90,720円 （14,000枚分）		

領　収　証

小野田紀美 様　　戦27年 1 月 27 日

¥185,300－

但し 区議会報告デザイン・印刷代として
上記の金額正に領収いたしました。

収入印紙 日本政府 200

PUT UP style

株式会社 プットアップ・スタイル
〒610-0101 京都府城陽市平川横道8-19
Phone 0774-53-5300 Fax 0774-53-2122

株式会社 プットアップ・スタイル

③視察項目

④視察参加者

	経理責任者照合 池田博一

〒

請求書

No.

平成　27年　2月　4日

小野田紀美　　様

杉山印刷株式会社
代表取締役　杉山徳卓
〒115−0045
東京都北区赤羽2−26−1
TEL03-3902-1341 FAX03-3902-1343

振込先：支払は弊社指定銀行に振込み願います。

[redacted]

担当者 [redacted]

合計金額　¥90,720

品　名	数量	単価	金額	備考
ポスティング	14,000 枚	6.00	84,000	
田端新町1，2，3				
東田端1，2				
田端1，2，3，4，5，6				

領　収　証

小野田紀美　様

27 年 2 月 10 日

¥90,720※

上記の金額正に領収いたしました
但し　ポスティング代

収入印紙
日本政府
200円

東京都北区赤羽2丁目25番1号
杉山印刷株式会社
代表取締役　杉山徳卓

消費税	¥6,720	小計	84,000	
合計金額			¥90,720	

摘要：

北区議会議員
北区自民だより
KIMI ONODA NEWS

小野田紀美区政報告

［号外］
平成27年2月
第6号

［発行］北区自由民主党議員団：東京都北区王子本町1-15-22　TEL.03-3980-1111（代）

未来の区政へ きみと共に

小野田紀美

おのだ きみ

区議になり4年間、区民の皆様の声に応えるために、自民党議員として着実に事業を推進していまいりました。今回のレポートでは、特に防災減災施策・子育て施策・高齢者施策等、主要課題の進捗・現況を簡単にまとめてピックアップ！
そして、あまり語られないけれど皆様に知ってほしい「政策の裏事情」についても記載致しましたので、政策の光と影、両方ともどうぞご覧ください！

小野田紀美の考える 北区を元気にする 3つの重点項目

子育て・教育

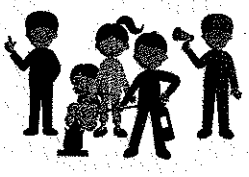
北区は保育園整備率23区ナンバー1に！（平成25年度）

高齢者施策

高齢化率23区ナンバー1
（平成25年度は24.6%、約4人に1人が高齢者）

防災・減災

積極的な防災減災まちづくりへ邁進！



詳しくは中面&裏面へ

我々北区自民党議員団は皆様からのご要望を受け、少しでも区民の声に応えられる北区、住んでよかったと選ばれる北区にするために、より良い北区実現の方法を模索し実行し続けています。しかし、そうして声にお応えして行う施策や事業には、あまり大々的に語られないけれど皆様に知ってほしい「裏事情」があります。そんな区政の情報もいくつか記させて頂きます。

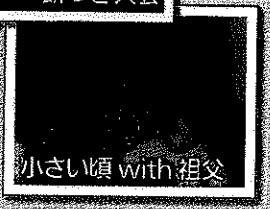
小野田紀美（おのだきみ） Kimi Onoda profile プロフィール

- 1982年12月7日、アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ生。
- 1歳半の時に日本に帰国、以来高校卒業まで岡山県で暮らす。
- 拓殖大学（政経学部政治学科）進学を機に上京。
- 大学卒業後はアルバイトや派遣や正社員などで様々な業種職種を経験。
- 立候補直前までの約4年間は株式会社アスガルド（乙女ゲーム・女性向け＆乙女向けCD等制作会社）にて広報プロモーション・制作・ブッキング等に携わる。
- ［特技］格闘技、歌　　- ［資格］高等学校教員免許（公民科）

教育実習

餅つき大会

東田端盆踊り大会


小さい頃 with 祖父

小野田紀美の考える北区を元気にする

3つの重点項目 子育て・教育

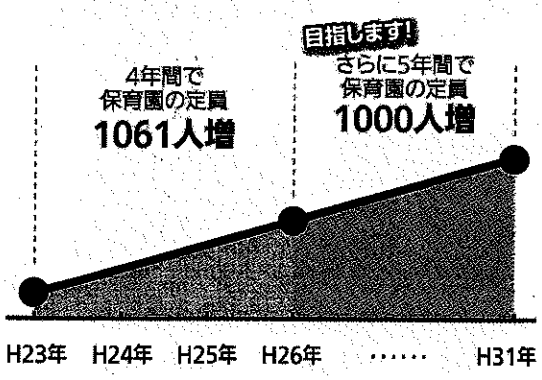
北区は保育園整備率23区ナンバー1に！

（平成25年度）

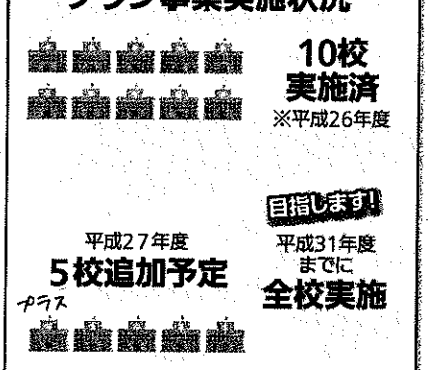
- 働く親御さんの声にお応えすべく、平成23年～26年の4年間に保育園の定員を1061人増やしました。今後5年間で、さらに約1000人の定員拡大をはかっていく予定です。
- 平成25年度放課後子どもプラン事業本格実施

  放課後の子供たちの居場所確保のため、放課後学校の一部を使用し学習遊びの場を提供。平成26年度までに10校実施済、平成27年度は5校追加予定で平成31年度までに全校実施を目指します。

■ 保育園の定員拡大について



■ 放課後子ども プラン事業実施状況



保育園整備率

23区で No.1

※平成25年度

保育園児一人にかかる保育費は？

政策・事業の光と影

例えば0歳園児1人当たりにかかる運営経費は月額427,677円。そのうち81.7%を北区が負担しています。平成25年度は112億5,113万円が保育園運営経費として歳出されており、保育園の整備を積極的に行っている現在、予算における保育関連費用の割合はどんどん大きくなっています。また、延長保育も更に長くとの要望もあり、それに応えて続けていくと保育経費は膨れ上がっていきます。

小野田紀美はこう考える

子供は国の宝です。その子供を育てるべく頑張って働いている親御さんにとって現在保育所は欠かせないものであり、ニーズに応える形で整備していくことは大変重要です。が、区が負担していける財源にも限界があります。皆が皆保育園に預けないと絶対働けない、暮らしていけない、終電時刻まで延長保育がないと残業必須で子育て不可能、という現代の労働環境の改善を、保育園の整備と共に早急に行っていかねばならない・・・と、ブラック企業で働いていた事のある私は切に思います。北区としてワークライフバランスの改善を図ると共に、国に対しても労働環境・システムの改善を訴えて参ります。

小野田紀美の考える北区を元気にする

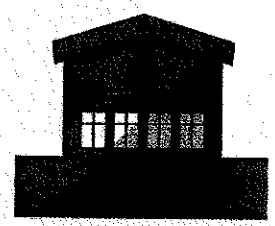
3つの重点項目

高齢者施策

北区は高齢化率23区ナンバー1 (平成20年度から継続中)

- 高齢者支援を包括的に行う中核機関として各地域に高齢者あんしんセンターを設置(平成26年度現在15か所)。困った際に気軽に相談できる環境づくりを行っています。
- 医療と介護の連携にもいち早く取り組み、医師会から推薦された高齢者あんしんサポート医4名が高齢者あんしんセンターからの医療に関する相談対応等に対応しています。
  これは23区で初の事業です。
- 区民ニーズに応えた特養の整備を進めています。平成20～25年の6年間で新たに特養2箇所を開設。待機者からの声を受け、引き続き特養整備を図っていきます。

高齢化率
23区で
No.1



高齢者
あんしん
センター
**現在
15か所設置**

高齢者あんしんサポート医4名が
医療に関する相談に対応

**23区で
初の事業**

特養が増えると介護保険料が上がる？

政策・事業の光と影

特養が1床増えるごとに介護保険料が1か月当たり最大で約1円上がると言われています(例:100床の特養が1か所できたらひと月最大約100円値上がり)。また近年は介護を利用する人口が急速に増え、徴収する介護保険料ではやりくりができず、不足額穴埋めのために平成26年度は当初予算で約40億円も一般会計(本来介護保険に使う用ではないお金)から繰り入れされています。このままでは区民の介護保険料負担が増える一方になってしまいますし、一般会計が圧迫されると、その他の区事業を圧縮せねばならなくなる等、区政全体へ大きく影響が及びます。

小野田紀美は こう考える

実は北区、高齢化率ナンバーワンなのに平均寿命は23区中ワースト4位[※1]。国保で一人当たりにかかった医療費は23区中ワースト3位[※2]。介護保険の要支援・要介護の認定者も年々増加傾向にあるなど、北区民の健康状態は最良ではないようです。介護環境を整えていくことも重要ですが、介護保険制度を破たんさせないためにこれから行うべきことは、病院にかからず、介護を受けなくてすむ「健康で長生き北区民」を実現するための取り組みだと思っています。区が主導となって健康づくりを推進していけるよう、政策を提案していきます!(平成26年度から禁煙治療費の助成制度も始まりました。ぜひご活用ください)

※1:平成22年調査、女性寿命 ※2:平成23年度国民健康保険事業年報

小野田紀美の考える北区を元気にする

3つの重点項目 防災・減災

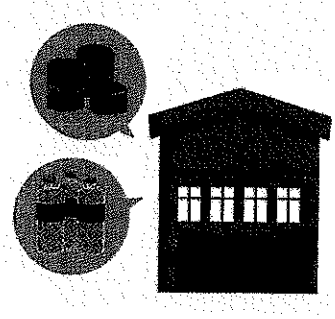
積極的な防災減災まちづくりへ邁進！

- 東日本大震災での教訓を生かして、区有建築物の耐震化促進（学校の耐震化は完了）、災害時の情報通信手段の確保、深井戸の水質検査と改善、災害時妊婦救護所の検討等々、各種防災減災対策を見直し随時改善に取り組んでいます。
- 地域の防災機能向上に有用な道路の整備や公園などのオープンスペース確保の取り組みを推進。また、区内11か所の災害備蓄倉庫の更なる充実（特に乳幼児・子ども、高齢者用備蓄の強化）をはかっています。
- 木造民間住宅耐震化促進事業、分譲・賃貸マンション耐震化支援事業、擁壁等安全対策支援事業、老朽家屋除却支援事業、耐震シェルター等設置支援事業etc、災害時に区民の安全が確保されるように、地震に備える様々な助成を行っています。

防災備蓄は各倉庫1000人分しかない？

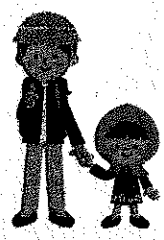
政策・事業の光と影

防災倉庫には1000人分×3日（1日2食）しか食料備蓄がありません。北区にある備蓄倉庫は11か所ですので、計11000人分の備蓄があることになりますが、北区の人口は約33万人。区民全員分の食料を確保する量ではないのが現実です。



小野田紀美からのお願い

この理由は、発災時の食料等まずは自助、ということで各自での備蓄を前提としているから。全区民分用意してくれというお声もありますが、備蓄スペースの問題と、多額になる予算のため事実上不可能なのです。（3日分の飲食料1人当たり3,600円の経費、33万人分用意すると11億円！）ご自身や家族の身を守れるよう、区の防災備蓄があるからと油断せずに、各家庭でしっかり備えて下さるようお願いします。



編集後記

小野田は耳触りのいい光の部分だけをお知らせできません。税金は低く抑え、でも福祉や住民サービスはどんどん充実させる…現実的に考えれば現在の状況でその両立が不可能なのは明らかです。事業を行うのは「区のお金」。でも、区のお金とは「私たちの税金」です。区に多くを求めるほどに、私たちに負担は返ってきます。何に使ってどう負担が返ってくるのかをきちんとお伝えしていきたいと私は思っています。負の部分にふたをして、区民にとって良い事ばかりを伝え支持を得るのではなく、メリットもデメリットもすべて分かりやすくご説明して、そのうえで区民にとって一番良い方向を皆様と共に考え、提案し、より良い北区政の実現にこれからも勤しんで参ります！

小野田紀美

ご意見・ご要望お寄せください | 小野田紀美事務所 〒114-0012 東京都北区田端新町3-18-6-303
E-mail onoda-kimi@hotmail.co.jp URL http://yaplog.jp/o-kimi 小野田紀美 後援会

第９号様式（第７条関係）　　（表）

会計整理票番号	3-7　番

政務活動費会計整理票

会派名	自由民主党議員団	議員氏名	小野田紀美
支出日	2015年　3月17日（火）		
項　目	調査研究費・研修費・資料作成費 資料購入費・広報費・広聴費 要請陳情活動費・会議費・人件費 事務所費・事務費	金　額	23,065　円
支出内容	区政レポート郵送代　340枚		

領収証書

毎度ありがとうございます

様

〒100-8798　日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関１－３－２
2015年 3月13日　15:25

［別納１］
区内特別基（定）　19.5g
067　321通　¥21,507
小　計　¥21,507

課税計　¥21,507
(内消費税等　¥1,593)
非課税計　¥0

合計　¥21,507
お預り金額　¥21,507

印紙税申告納
付につき麹町
税務署承認済

担当
発行No.0408　端02箱70
連絡先：王子本町郵便局
TEL:03-3909-3170

郵便局からのお知らせ
ご注意ください!
「レターパックなどで現金送れ」は
すべて詐欺です。
レターパックで現金を送ることは郵便法違反です。

○視察の場合

①視察日

領収証書

毎度ありがとうございます

様

〒100-8798　日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関１－３－２
2015年 3月13日　15:28

［別納２］
第一種定形　19.5g
082　19通　¥1,558
小　計　¥1,558

課税計　¥1,558
(内消費税等　¥115)
非課税計　¥0

合計　¥1,558
お預り金額　¥1,558

印紙税申告納
付につき麹町
税務署承認済

担当
発行No.0409　端02箱70
連絡先：王子本町郵便局
TEL:03-3909-3170

郵便局からのお知らせ
ご注意ください!
「レターパックなどで現金送れ」は
すべて詐欺です。
レターパックで現金を送ることは郵便法違反です。

経理責任者照合　北田博一

北区議会議員
北区自民だより
KIMI ONODA NEWS

小野田紀美区政報告

［号外］
平成27年2月
・第6号

発行 北区自由民主党議員団：東京都北区王子本町1-15-22　TEL.03-3980-1111（代）

未来の区政へ きみと共に

小野田紀美

おのだ きみ

区議になり4年間、区民の皆様の声に応えるために、自民党議員として着実に事業を推進していまいりました。今回のレポートでは、特に防災減災施策・子育て施策・高齢者施策等、主要課題の進捗・現況を簡単にまとめてピックアップ！
そして、あまり語られないけれど皆様に知ってほしい「政策の裏事情」についても記載致しましたので、政策の光と影、両方ともどうぞご覧ください！

小野田紀美の考える 北区を元気にする 3つの重点項目

子育て・教育

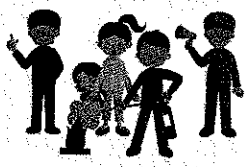
北区は保育園整備率23区ナンバー1に！（平成25年度）

高齢者施策

高齢化率23区ナンバー1
（平成25年度は24.6%、約4人に1人が高齢者）

防災・減災

積極的な防災減災まちづくりへ邁進！



詳しくは中面&裏面へ

我々北区自民党議員団は皆様からのご要望を受け、少しでも区民の声に応えられる北区、住んでよかったと選ばれる北区にするために、より良い北区実現の方法を模索し実行し続けています。しかし、そうして声にお応えして行う施策や事業には、あまり大々的に語られないけれど皆様に知ってほしい「裏事情」があります。そんな区政の情報もいくつか記させて頂きます。

小野田紀美（おのだきみ） Kimi Onoda profile プロフィール

- 1982年12月7日、アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ生。
- 1歳半の時に日本に帰国、以来高校卒業まで岡山県で暮らす。
- 拓殖大学(政経学部政治学科)進学を機に上京。
- 大学卒業後はアルバイトや派遣や正社員などで様々な業種職種を経験。
- 立候補直前までの約4年間は株式会社アスガルド（乙女ゲーム・女性向け&乙女向けCD等制作会社）にて広報プロモーション・制作・ブッキング等に携わる。
- ［特技］格闘技、歌　　- ［資格］高等学校教員免許（公民科）

教育実習

餅つき大会

東田端盆踊り大会

小さい頃 with 祖父

小野田紀美の考える北区を元気にする

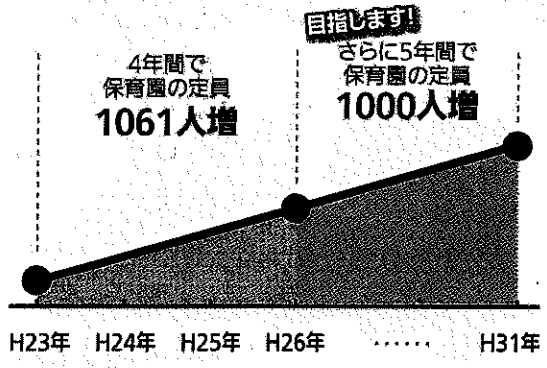
3つの重点項目 子育て・教育

北区は保育園整備率23区ナンバー1に!

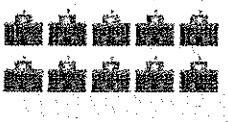
(平成25年度)

- 働く親御さんの声にお応えすべく、平成23年～26年の4年間に保育園の定員を1061人増やしました。今後5年間で、さらに約1000人の定員拡大をはかっていく予定です。
- 平成25年度放課後子どもプラン事業本格実施
  放課後の子供たちの居場所確保のため、放課後学校の一部を使用し学習遊びの場を提供。平成26年度までに10校実施済、平成27年度は5校追加予定で平成31年度までに全校実施を目指します。

■ 保育園の定員拡大について



■ 放課後子ども プラン事業実施状況



10校
実施済
※平成26年度

目指します!
平成31年度
までに
全校実施

平成27年度
5校追加予定
プラス

保育園整備率
23区で
No.1
※平成25年度

保育園児一人にかかる保育費は?

政策・事業の光と影

例えば0歳園児1人当たりにかかる運営経費は月額427,677円。そのうち81.7%を北区が負担しています。平成25年度は112億5,113万円が保育園運営経費として歳出されており、保育園の整備を積極的に行っている現在、予算における保育関連費用の割合はどんどん大きくなっています。また、延長保育も更に長くとの要望もあり、それに応えて続けていくと保育経費は膨れ上がっていきます。

小野田紀美はこう考える

子供は国の宝です。その子供を育てるべく頑張って働いている親御さんにとって現在保育所は欠かせないものであり、ニーズに応える形で整備していくことは大変重要です。が、区が負担していける財源にも限界があります。皆が皆保育園に預けないと絶対働けない、暮らしていけない、終電時刻まで延長保育がないと残業必須で子育て不可能、という現代の労働環境の改善を、保育園の整備と共に早急に行っていかねばならない…と、ブラック企業で働いていた事のある私は切に思います。北区としてワークライフバランスの改善を図ると共に、国に対しても労働環境・システムの改善を訴えて参ります。

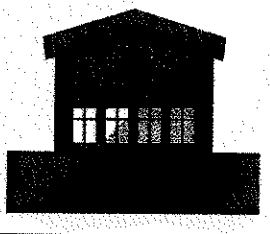
小野田紀美の考える北区を元気にする

3つの重点項目 高齢者施策

北区は高齢化率23区ナンバー1 (平成20年度から継続中)

- 高齢者支援を包括的に行う中核機関として各地域に高齢者あんしんセンターを設置(平成26年度現在15か所)。困った際に気軽に相談できる環境づくりを行っています。
- 医療と介護の連携にもいち早く取り組み、医師会から推薦された高齢者あんしんサポート医4名が高齢者あんしんセンターからの医療に関する相談対応等に対応しています。
  これは23区で初の事業です。
- 区民ニーズに応えた特養の整備を進めています。平成20~25年の6年間で新たに特養2箇所を開設。待機者からの声を受け、引き続き特養整備を図っていきます。

高齢化率 23区で No.1



高齢者あんしんセンター 現在15か所設置

23区で初の事業

特養が増えると介護保険料が上がる?

政策・事業の光と影

特養が1床増えるごとに介護保険料が1か月当たり最大で約1円上がると言われています(例:100床の特養が1か所できたらひと月最大約100円値上がり)。また近年は介護を利用する人口が急速に増え、徴収する介護保険料ではやりくりができず、不足額穴埋めのために平成26年度は当初予算で約40億円も一般会計(本来介護保険に使う用ではないお金)から繰り入れされています。このままでは区民の介護保険料負担が増える一方になってしまいますし、一般会計が圧迫されると、その他の区事業を圧縮せねばならなくなる等、区政全体へ大きく影響が及びます。

小野田紀美はこう考える

実は北区、高齢化率ナンバーワンなのに平均寿命は23区中ワースト4位[※1]。国保で一人当たりにかかった医療費は23区中ワースト3位[※2]。介護保険の要支援・要介護の認定者も年々増加傾向にあるなど、北区民の健康状態は最良ではないようです。介護環境を整えていくことも重要ですが、介護保険制度を破たんさせないためにこれから行うべきことは、病院にかからず、介護を受けなくてすむ「健康で長生き北区民」を実現するための取り組みだと思っています。区が主導となって健康づくりを推進していけるよう、政策を提案していきます!(平成26年度から禁煙治療費の助成制度も始まりました。ぜひご活用ください)

※1:平成22年調査、女性寿命 ※2:平成23年度国民健康保険事業年報

小野田紀美の考える北区を元気にする

3つの重点項目 防災・減災

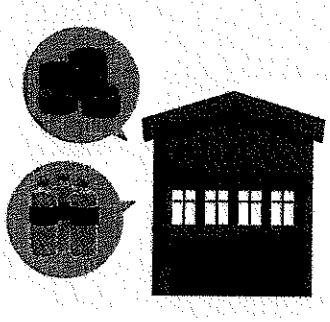
積極的な防災減災まちづくりへ邁進！

- 東日本大震災での教訓を生かして、区有建築物の耐震化促進（学校の耐震化は完了）、災害時の情報通信手段の確保、深井戸の水質検査と改善、災害時妊婦救護所の検討等々、各種防災減災対策を見直し随時改善に取り組んでいます。
- 地域の防災機能向上に有用な道路の整備や公園などのオープンスペース確保の取り組みを推進。また、区内11か所の災害備蓄倉庫の更なる充実（特に乳幼児・子ども、高齢者用備蓄の強化）をはかっています。
- 木造民間住宅耐震化促進事業、分譲・賃貸マンション耐震化支援事業、擁壁等安全対策支援事業、老朽家屋除却支援事業、耐震シェルター等設置支援事業etc、災害時に区民の安全が確保されるように、地震に備える様々な助成を行っています。

防災備蓄は各倉庫1000人分しかない？

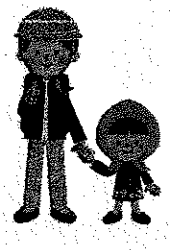
政策・事業の光と影

防災倉庫には1000人分×3日（1日2食）しか食料備蓄がありません。北区にある備蓄倉庫は11か所ですので、計11000人分の備蓄があることになりますが、北区の人口は約33万人。区民全員分の食料を確保する量ではないのが現実です。



この理由は、発災時の食料等まずは自助、ということで各自での備蓄を前提としているから。全区民分用意してくれというお声もありますが、備蓄スペースの問題と、多額になる予算のため事実上不可能なのです。（3日分の飲食料1人当たり3,600円の経費、33万人分用意すると11億円！）ご自身や家族の身を守れるよう、区の防災備蓄があるからと油断せずに、各家庭でしっかり備えて下さるようお願いします。

小野田紀美からのお願い



■ 編集後記

小野田は耳触りのいい光の部分だけをお知らせできません。税金は低く抑え、でも福祉や住民サービスはどんどん充実させる・・現実的に考えれば現在の状況でその両立が不可能なのは明らかです。事業を行うのは「区のお金」。でも、区のお金とは「私たちの税金」です。区に多くを求めるほどに、私たちに負担は返ってきます。何に使ってどう負担が返ってくるのかをきちんとお伝えしていきたいと私は思っています。自の部分にふたをして、区民にとって良い事ばかりを伝え支持を得るのではなく、メリットもデメリットもすべて分かりやすくご説明して、そのうえで区民にとって一番良い方向を皆様と共に考え、提案し、より良い北区政の実現にこれからも勤しんで参ります！

小野田紀美

ご意見・ご要望お寄せください | 小野田紀美事務所 〒114-0012 東京都北区田端新町3-18-6-303
E-mail onoda-kimi@hotmail.co.jp URL http://yaplog.jp/o-kimi

第９号様式（第７条関係）　　（表）

会計整理票番号	5-3　番

政務活動費会計整理票

会派名	北区議会 自由民主党議員団	議員氏名	小野田紀美
支出日	2015 年 5 月 12 日（火）		
項　目	調査研究費・研修費・資料作成費 資料購入費・広報費・広聴費 要請陳情活動費・会議費・人件費 事務所費・(事務費)	金　額	34,860 円
支出内容	PC用DVDドライブ×7個 （Logitec ポータブルDVDドライブ USB3.0　LDR-PMG8U3LBK）		

○会議・研修の場合

参加者の状況等

サンクス
王子岩町店
電話 03-3905-3431
2015年 5月12日（火）11時45分
オンライン決済
領収書
様
Amazon.co.jp
領収金額計 (消費税等含む) ¥34,860
上記正に領収いたしました
Amazon.co.jpをご利用いただきありがとうございます。
お客様の注文番号は：250-0775019-7538225
お支払いについてご不明な点はカスタマーサービスまで。
www.amazon.co.jp/contact-us/
お支払い内容等に関しては、取引先へご確認下さい。
[取引ID] 20304931150512114450
領収印
サンクス 15.5.12 203049
チケット0枚
ご案内 1枚 をお受け取り下さい。
代行業務：ウェルネット(株)
財布等にはさんで保管頂く場合は、印刷面を内側に折り保管して下さい
No.1

年　月　日（　）～　年　月　日（　）　泊　日

②視察場所

③視察項目

④視察参加者

	経理責任者照合　池田博一

第９号様式（第７条関係）　　（表）

会計整理票番号	5-7　番

政務活動費会計整理票

会派名	北区議会 自由民主党議員団	議員氏名	小野田紀美
支出日	2015 年 5 月 15 日（金）		
項　目	調査研究費・研修費・資料作成費 資料購入費・広報費・広聴費 要請陳情活動費・会議費・人件費 事務所費・事務費	金　額	13,568　円
支出内容	インクジェットプリンタ（会派設置用）1台		

○会議・研修の場合

参加者の状況等

○交通費・宿泊費のある場合

利用交通機関（鉄道・タクシー・自家用車・飛行機・その他） 乗車駅（　　）降車駅（　　）　円 宿泊費 円

○視察の場合

①視察日

年　月　日（　）～　年　月　日（　）　泊　日

②視察場所

③視察項目

④視察参加者

貼付票
宅急便コレクト　3766－4158－2306
東京都　北区王子本町1-15-22
北区役所4階　自民党
北区自民党議員団　様
Amazon.co.jp®

領収書　宅急便コレクト

お届け先
北区王子本町1-15-22
北区役所4階　自民党議員団控室
北区自民党議員団　様
〒 114－8508　Tel 090－3631－5902

代金引換額（税込）
13568 円
消費税額等
1005 円

送り元
〒350－0168
埼玉県比企郡川島町かわじま 2-1-1
amazon.co.jp®
http://www.amazon.co.jp/contact－us/

年　月　日
入金内訳　現金　13568円
記事・品名　ShipID: Dm6lm6TWN

ヤマトフィナンシャル株式会社
ヤマト領収金額（代金引換額）の訂正はできません
上記金額を正に領収いたしました。

領収印　[redacted]

印紙税申告納付につき京橋税務署承認済

	経理責任者照合　池田 [redacted]

第９号様式（第７条関係）　　（表）

会計整理票番号	5-11　番

政務活動費会計整理票

会派名	北区議会 自由民主党議員団	議員氏名	小野田紀美
支出日	27年 5月 21日（木）		
項　目	調査研究費・研修費・資料作成費 資料購入費・広報費・広聴費 要請陳情活動費・会議費・人件費 事務所費・事務費	金　額	10,529　円
支出内容	プリンタ用インクカートリッジ 4個		

○会議・研修の場合

参加者の状況等

○交通費・宿泊費のある場合

利用交通機関（鉄道・タクシー・自家用車・飛行機・その他） 乗車駅（　　）降車駅（　　）　　円 宿泊費 円

○視察の場合

①視察日

年　月　日（　）～　年　月　日（　）　泊　日

②視察場所

③視察項目

④視察参加者

領収書　宅急便コレクト

お届け先　北区王子本町1-15-22
北区役所4階　自民党議員団控室
北区自民党議員団　様
〒 114-8508　Tel 090-3631-5902

代金引換額（税込）10529 円
消費税額等 779 円

送り元　〒272-0127
千葉県市川市塩浜 2-13-1
amazon.co.jp®
http://www.amazon.co.jp/contact-us/

年　月　日
入金内訳　現金　10529 円
記事・品名　OrderID: DxNFLqytN

ヤマトフィナンシャル株式会社
ヤマト領収金額（代金引換額）の訂正はできません
上記金額を正に領収いたしました。

印紙税申告納付につき京橋税務署承認済

	経理責任者照合　池田博一

amazon.co.jp

北区自民党議員団 様

COD

DxNFLqytN/-4 of 4-/std-pri-jp-dom/5210882

納品書

ご注文日 2015/05/20

ご注文番号
249-9940859-5660619

納品書番号 DxNFLqytN
発行日 2015/05/20

数量	商品名	種類	金額(税込)
1	Canon キヤノン 純正 インクカートリッジ PGI-2300 ブラック 大容量タイプ PGI-2300XLBK(** P-3-B205C102 **) B00N3F46VI , 4549292004793	Personal Computers	¥3,992
1	Canon キヤノン 純正 インクカートリッジ PGI-2300 イエロー 大容量タイプ PGI-2300XLY(** P-3-B208E163 **) B00N3F46IQ , 4549292004908	Personal Computers	¥2,071
1	Canon キヤノン 純正 インクカートリッジ PGI-2300 シアン 大容量タイプ PGI-2300XLC(** P-3-B205D105 **) B00N3F47TO , 4549292004885	Personal Computers	¥2,071
1	Canon キヤノン 純正 インクカートリッジ PGI-2300 マゼンダ 大容量タイプ PGI-2300XLM(** P-3-B207E122 **) B00N3F47JO , 4549292004892	Personal Computers	¥2,071

小計	¥10,205
配送料・手数料	¥0
代金引換手数料	¥324
合計	¥10,529
お支払い残高	¥10,529

Amazon.com Int'l Sales, Inc. 410 Terry Avenue North, Seattle, WA 98109-5210, USA

商品の保証書について
当サイトでは、配送の都合上、この納品書の発行日をお買い上げ日とさせていただいております。商品の保証書にはお買い上げ日を記入しておりませんので、納品書は保証書と一緒に保管ください。保証、修理等については、直接各メーカーまでお問い合わせください。なお、この納品書の再発行は承っておりません。必要な場合は、お手数ですがコピーをご利用ください。

領収書について
PCサイトの「アカウントサービス」内にある注文履歴画面から領収書データを表示することができますので、印刷してご利用ください(代金引換、コンビニ・ATM・ネットバンキング・電子マネー払いでお支払いの場合を除く)。領収書について詳しくは、ヘルプページをご確認ください。

返品・返金/交換について
商品の返品、または交換方法は、ヘルプページを必ずご確認のうえ、サイト上で手続きをしてください。

http://www.amazon.co.jp/henpin

備考欄 (返品理由など)

お客様のご注文に関する情報は、「アカウントサービス」でご確認ください。

77/DxNFLqytN/-4 of 4-//YAMATO_SDD_010/std-pri-jp-dom/5210882/0521-06:00/0520-22:58/dc-owl Pack Type : S

第９号様式（第７条関係）　　（表）

会計整理票番号	9-5 番

政務活動費会計整理票

会派名	自由民主党議員団	議員氏名	○渡辺かつひろ
支出日	27年 9月 14日（木）		
項　目	調査研究費・研修費・資料作成費 資料購入費・広報費・広聴費 要請陳情活動費・会議費・人件費 事務所費・事務費	金　額	¥1,673,170 円
支出内容	内訳別紙		

○会議・研修の場合 12

参加者の状況等（名）

大沢にかし、名取ひであき、小野田紀美、椿くにじ、前田ゆきお、
永沼かつゆき、榎本はじめ、渡辺かつひろ、山田かなこ、小池にくみ、戸枝大幸、池田博一

○交通費・宿泊費のある場合

利用交通機関（鉄道・タクシー・自家用車・飛行機・その他）　別紙記載

乗車駅（　　）降車駅（　　）　円

宿泊費　○バス利用は、各自治体間の予定時間にあう交通機関がなかった為　円

○視察の場合

①視察日

27年 8月 10日（月）～27年 8月 12日（水）2泊 3日

②視察場所

① 北海道 東川町　　③ 北海道 千歳市

② 〃 札幌市

③視察項目

① 幼保一体施設　　③ 大学連携による学習サポート

② 町会・自治会加入促進

④視察参加者

上記

経理責任者照合　池田博一

コースNo. 00003306
作成日：2015. 06. 10

視察行程表

北区議会自由民主党議員団　様

東京都知事登録旅行業　第2-5523号
ウインドツアー　株式会社ウインド
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-31-5-305
TEL：03-5949-6799　FAX：03-3987-7715
責任者：[redacted]　総合旅行業務取扱管理者：[redacted]
担当者：[redacted]

コース名	北海道視察≪ 東川町／札幌市／千歳市≫		
期　間	2015年8月10日(月)～08月12日(水) 2泊3日	人 数	大人 13名　小人 0名　合計 13名

	月日	コース	食事
1	8/10 (月)	(集合) 羽田空港第2ターミナル 08:00 ＝ (出発) 東京羽田国際空港 09:00 ―全日本空輸55→ 新千歳空港 10:35 10:55 ＝ 千歳IC ＝道央自動車道＝ 札幌JCT ＝ (昼食) 砂川SA 12:30 ～ 13:20 ＝ 旭川北IC 13:55 ＝ (視察) 東川町【行政視察】 14:30 ～ 16:00 ＝ (宿泊) 天人峡温泉／しきしま荘 16:40	
2	8/11 (火)	天人峡温泉 09:00 ＝ 旭川北IC 10:15 ＝道央自動車道＝ (休憩) 砂川SA 10:55 ～ 11:10 ＝ 札幌JCT ＝ 新川IC ＝ (昼食) 札幌市内 12:20 ～ 13:40 ＝ (視察) 札幌市役所【行政視察】 14:00 15:30 ＝ 札幌南IC ＝道央自動車道＝ 千歳IC ＝ (宿泊) 千歳／ホテルグランテラス千歳 16:30	
3	8/12 (水)	ホテルグランテラス千歳 09:50 ＝ (視察) 千歳市役所【行政視察】 10:00 ～ 12:00 ＝ (昼食) 千歳市内 12:15 ～ 13:30 ＝ 新千歳空港 13:50 15:30 ―日本航空068→ (解散) 東京羽田国際空港 17:05	

備考	

バス ＝ 車 ― JR ▬ 私鉄 ┼┼┼ 船 ～～ 飛行機 ―→ ロープウェイ ～～ ケーブルカー ┼┼┼ 徒歩 - -

請　求　書

請求書No.: 00004069-001-01
発 行 日: 2015.09.09

北区議会自由民主党議員団　様

ツアー名:北海道視察≪ 東川町／札幌市／千歳市≫

期　　間:2015.08.10(月) ～
2015.08.12(水)　2泊3日

東京都知事登録旅行業　第2-5523号
ウインドツアー
株式会社ウインド
〒170-0013
東京都豊島区東池袋1-31-5-305
TEL：03-5949-6799　　FAX：03-3987-7715
責 任 者 [redacted]
担 当 者

このたびは弊社をご利用いただきまして誠にありがとうございます。下記料金のご請求を申し上げますのでよろしくお願い致します。

合　計	お預り金額	ご請求金額
1,661,170円	0円	1,661,170円

No.	項　目	単価	数量	金額	備　考
1	航空券 8/10 羽田⇒札幌	40,190	12	482,280	ANA55便
2	航空券 8/12 札幌⇒羽田	40,190	12	482,280	ANA68便
3	8/10 雇い上げバス／千歳AP⇒東川町⇒天人	118,800	1	118,800	ほくしょう運輸9H
4	8/11 雇い上げバス／天人峡⇒札幌⇒千歳	124,200	1	124,200	ほくしょう運輸10H
5	8/12 雇い上げバス／千歳⇒千歳空港	54,000	1	54,000	ほくしょう運輸6H
6	8/10 高速道路料金 千歳IC⇒旭川北IC	7,770	1	7,770	
7	8/11 高速道路料金 旭川北IC⇒新川IC	7,200	1	7,200	
8	8/10 駐車料金　千歳空港	700	1	700	
9	宿泊費：8/10 天人峡/しきしま荘	17,430	12	209,160	
10	：8/11 千歳/ｸﾞﾗﾝﾃﾗｽ千歳	14,040	12	168,480	
11	旅行傷害保険	525	12	6,300	

領　収　証

02137

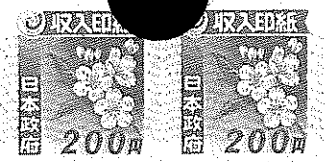
北区議会自由民主党議員団 様

27年9月14日

金額	¥1,661,170

但し 8/10-12 北海道視察費用として

上記の金額正に領収いたしました



東京都知事登録旅行業 第2-5523号
株式会社 ウインド WIND TOUR
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1－31－5－305
TEL03(5949)6799　FAX03(3987)7715

担当印

備考

お振込先 [redacted] 株式会社ウインド
株式会社ウインド

2015.09.14(月)までにお振込み下さるようお願い申し上げます。

(裏)

資料・領収書等を貼付し、経理責任者の照合を受けること。
領収書がない場合、その理由を記入し、経理責任者の照合を受けること。

領　収　書

平成 27年度	一般 会計	第　　号

納入者
住所
氏名　東京都北区議会
自由民主党議員団　様

科目	款	項	目	節	細節
	20	4	5	1	50

金額			¥	1	2	0	0	0

納入目的
視察受入負担金　1,000円×12名

上記のとおり領収致しました。

収納金融機関
領収[illegible]印
27.8.10

東川町会計管理者

平成27年8月17日
北区議会議員　小野田紀美

視察報告書

視察日：平成27年8月10日
視察場所：東川町（幼児センター）
視察項目：幼保一元化教育について

北区でも認定こども園が誕生し、これから国策として幼保一体教育が行われて行こうとしているなかで、8年も前から幼保一元化教育に取り組んでいる東川町の現場のお声をきかせて頂きながら、幼保一体実現までの道のりや今後の課題について総合的にお話を伺えた。なお、この幼児センターは「認可保育所と認可幼稚園の一元化」であり、「認定こども園」ではない。

東川町は住民の声を聞く中で、当時4、5歳の受け入れだった幼稚園を3歳も対象にしてほしいなどの要望を集約し、平成12年3月に東川町保育計画を策定。その後平成14年12月に幼児センターが暫定開園した。保育園児、幼稚園児と園児を分けることなく、預かる時間を「長時間型・短時間型」と分けることによって保護者のニーズに沿った預かりを行っており、その区分わけも厳密なものでなく、日によって長時間の子も早く帰ったり、短時間の子も延長保育をしたりと保護者の状況に対応できる仕組みとなっているそうだ。短時間と長時間の子で教室を分けることもせず、先生も別れていない。この幼保を一元化する取り組みに至った一番大きな要因は「親の職業や状況に関わらず、等しく教育を受けられる環境が必要だ」という自治体の強い思いがあった。保育園と幼稚園が分かれていた当時、幼稚園から小学校に上がった児童と保育園から小学校に上がった児童との間に、同級生にも関わらず入学時のレベル差が生じてしまうという事態が見られたそうで（幼稚園は教育、保育園は保育のため）、これではいけないと自治体は憂慮しており、保育もいいが、教育はしっかりしなくてはいけないということで、この幼保一元化にあたっては教育を重視しているとのことであった。したがって、この幼児センターの担当は教育委員会である。

平成15年3月に保育園条例の一部改正及び、教育委員会に対する事務委任規則の一部改正が行われてそうなったわけであるが、担当事務の部署移動は揉めたのではないかと問うと、揉めることはなかったと町長自らがこう発言して下さった。「子供に関する事は全て教育だ。親の教育も社会教育、子ども家庭部局に縛る意味がないと判断した」全くその通りで英断であったと思う。首長の強いリーダーシップがあれば、難しいと思われる担当部署の変更もこんなにもスムーズにいくものなのだと感心した。子供の教育環境を考えれば、担当の部署は一元化されるべきであろう。なお、東川町では学童保育も

教育委員会部局の所管である。次に幼児センターの職員について。東川町では平成 15 年 11 月に国の構造改革特区制度を活用し「幼保一元化特区」の認定をうけたことで、幼保一元化教育・保育士が正式に認められることになった。この資格は東川町だけで使えるものであり、他自治体では使えない。国際戦略特区の地域保育士資格のようなものである。職員採用も一元化されており、委託はしていない。保育士・幼稚園教諭の両資格をもっていても片方だけ所持していても給与は変わらない。中途採用でも新人と同じベースから給与はスタートをし、続けていく中でベースアップをはかっているそうだ。職員が児童の教育をしていくなかでは幼保合同の（２～5 歳までの）独自カリキュラムを作成しており、それにのっとってしっかりと指導を行っている。このカリキュラムは幼稚園の指導要領に基づいて作成しているとのことだった。また、気になる待機児童の問題だが、殆どいないそうだ。もし待機児が出た際は、臨機応変な対応で対策を講じておりとても驚いた。その臨機応変な対策とは、0 歳児の待機児童が出たとして、保育士の中途採用などで人員を増やして定員を拡大するのは難しいから、児童を調整するというものだ。具体的には、0 歳児クラスにいる児童のなかで 1 歳 1・2 か月になっている子を、1 歳児のクラスに移動してもらったり、1 歳 10 か月の子を 2 歳児のクラスに移動してもらったりというものである。教育の一元化がきちんと機能しているからこそ、こういった臨機応変な対応ができるのだろう。

また、小中との連携にも力を入れている。小学校では昼食をランチルームでとる形式になっており、その形式に慣れるために４～５歳児はランチルームで昼食をとるように変更している。また、1 年生と 5 歳児の交流を積極的に行ったり、5 歳～小中学生合同の音楽行事を開いたりと、スムーズな教育機関の移行ができるように工夫をこらしていた。広くゆとりのある園のなかで、子供たちは年齢や長時間 or 短時間の垣根を越えて仲良く遊び、統一されたカリキュラムで学び、いきいきと過ごしていた。保育園と幼稚園の部局まで違うなかでは難しいやり方だと思う。

いずれにしても一番感じたのは、子供たちが生まれてから義務教育を終えるまでの教育環境にエアポケットや格差をつくらず、いかに連動して一元的に教育環境を整えていけるかということを真剣に考え実行していく姿勢である。北区もおおいに参考にすべきではないだろうか。

平成27年8月17日
北区議会議員　小野田紀美

視察報告書

視察日：平成27年8月11日
視察場所：札幌市
視察項目：町会自治会の加入促進の取り組みについて（地域活動支援について）

生活の中で一番重要なものが自助であることは言うまでもないが、災害時や見守りの事を考えた時に、次に重要になってくるのは公助ではなく地域の共助ではないだろうか。しかし今、隣にだれが住んでいるかも分からないという状況は広がっており、町会自治会の加入率も下がり若手が入って来ない状況が続いている。北区でもこの状況を憂い、町会への加入率向上のために動き始めてはいるが、どうも動きが鈍いのが現状であり、先進的かつ積極的にこの問題に取り組んでいる札幌市に事業について伺ってきた。札幌市の町会・自治会加入率は各区によって差はあるが平均すると約 70%。札幌市はこの数字を７５％まで上げるべく、また、地域のまちづくり活動を支援するべく以下のような取り組みを行っている。

一つ目は、地域活動を応援する拠点となるまちづくりセンターを設置したことだ。平成16年4月に、市民自治によるまちづくりを推進するための地域のまちづくり活動の拠点とするため、市の連絡所を機能変換しまちづくりセンターに名称変更。全８７か所のセンターのうち、9地域は自主運営を行っていて、基本的にはセンターごとに、所長に市から課長職1名を配置、そのほか2名の非常勤職員を配置している。概ね中学校区に一か所の設置である。北区でいうなら地域振興室のようなものをまちづくり支援に特化した仕組みに変えたといえよう。町会や商店街、学校 PTA や NPO などが集まり形成されたまちづくり協議会とともに、地域各々の課題に取り組み解決をはかっていく市民自治の推進をより明確に打ち出していると感じた。そこでやはり課題になるのが、まちづくり協議会でも肝となる団体、町会自治会の加入率の向上だ。そこで二つ目として、町会自治会の加入促促進関わる事業を多々行っている。大きく3点にわけると、①不動産団体等企業との連携②マチトモキャンペーン等のPR活動③ワークショップ等町会活動自体の活性化への支援、である。まず不動産会社等との連携についてだが、集合住宅等への加入促進の対策が大きな課題である点を踏まえ、不動産関連団体5団体、引っ越し業者1社と協定書を締結し、地域への新規転入者に対し町会活動に関するパンフレット等を配布して加入につなげてもらえるようにする、団体会員への意識啓発のために団体研修の際に町会の役割などの研修を行ってもらうなどの取り組みを行っている。

次にマチトモキャンペーンと銘打った大々的なPR活動について。町会は他人事ではな

く自分事なんだというメッセージと、古臭く閉鎖的なイメージを取り払う爽やかな広告・キャンペーン・印刷物をフル活用してのキャンペーンだが、TVCM を 201 本（費用計 800 万）もうっている。宣伝費はかなりかさんでいるようだが、CM 放送後は自分の町会が検索できるサイトへのアクセス数が激増するなど、町会の存在すら意識していなかった層には一定の効果があったように思う。マチトモ navi では、QR コードを読み取るなどサイトにアクセスして、自分の住所を入力すると、自分の所属町会が分かり、フォームに「興味あります」という旨を入力して送信すると、そのメールが担当課に行き、担当課から町会長に連絡をし、町会長にその方の所まで説明や勧誘にいってもらうというシステムをきちんと構築できていた。これは素晴らしいと思った。北区も本年度から転入窓口で町会のチラシを配り始めてはいるが、自分がどの町会にあたるのか、入りたかったらどうすればいいのかが分かるものではなく（町会に問い合わせてみようといわれても普通転入して町会がどこにあたるのか誰が町会員なのかも連絡先も分かりません）そのまま放置･･･にしかならないようなものになってしまっているように感じている。このマチトモ navi のように入会の意思が無駄にならないシステム作りが求められると感じた。次に、町会活動への直接的な支援について。さまざまな地域で取り組まれているノウハウやアイデアの周知、アイデアを活用した町会活動や取り組みの活性化などを目的として「町内会活動へのヒント」という冊子を作成し、町会の運営方法から意識改革についてまで広く教科書になるような提案を行っている。また、活動の見直しや振り返りなどのためにワークショップも実施。アドバイザーの派遣も行っている。なぜこれが必要なのかは後述するとして･･･その他「学まちプロジェクト」では町会のイベントや地域のイベントに市と連携した大学生サークルを派遣して、学生の力でイベントを盛り上げてもらい交流するといった取り組みも行っている。学校との連携には力をいれており、学生が町会の副会長になるなど、時代を担う若い層を町会へと誘うきっかけ作りに市はいそしんでいる。ところが、だ。その若い力が町会に根付くことは非常に難しい。その原因は町会役員や町会員の考え方・体質にある。若手に町会の運営に関わってもらい町会の担い手になってもらおうという市の取り組みによって、若手が町会活動に加わっても、結局老人たちは偉そうにし、若者を顎で使い、都合の良い奴隷要員のような扱いを受けた若者がうんざりして去ってしまう例が少なくないそうだ。町会に加入しない人の理由のアンケートで「休みの日まで他人と関わりたくない」という非常に共感できる意見があったが、関わろうとしてくれる稀有な若者さえも遠ざけるほどの古い悪習を引きずり、小さい世界での威張りがはびこっている町会があるのも事実だ。そんな場所に新しい担い手など入っていくわけがない。何もメリットがないどころかデメリットしかないのだから。この他にも、活動はそこそこにみんな呑んでばかり･･･等古き悪き町会の根本的な問題を解決するために、市は町会活動のヒントという冊子を作り、ワークショップを開いて現会員の意識改革に取り組む必要があるのだ。

このようにそれぞれ町会加入促進事業があるなかで、全て合わせて昨年度は 3000 万円、

本年度は4000万円を投入して力を入れている、しかし積極的に加入促進の活動をしている町会は2012町会中10町会程度･･･。自治体は、認知度を上げる取り組みを行う事は出来ても、結局現町会員自体が目を覚まして魅力的な町会に作り替えていかないと新規者は存在を知っても拒否するだろう。今回色々な取り組みを伺った中で、特に今後の北区に参考にさせて頂きたいと思ったのは、自分の町会が分かる検索システム（そして入会の意思を会長に伝えるシステム）と、「町内会活動のヒント」という冊子を使った町会運営マニュアル（若い人を奴隷扱いする思想変換等を促すことも含み）を基にした、町会長・役員の意識改革への取り組みだ。衰退には衰退の理由がある。次世代を担う町会員が増えない一番明確な理由は、「いざという時の共助を考えてもマイナスになるほど町会が全く魅力的に見えない」というものではないだろうか。町会の在り方、町会役員の意識改革、これこそが、もっとも必要でもっとも難しい課題なのだとあらためて感じさせられた。

平成27年8月17日
北区議会議員　小野田紀美

視察報告書

視察日：平成27年8月12日
視察場所：千歳市
視察項目：大学生ボランティアによる小中学生学習サポート支援について

常日頃、自治体にある学校・大学との連携はとても意義ある活動だと思っておりますが、今回は千歳科学技術大学と市立小中学校とが繋がる事業について伺った。千歳市では、千歳科学技術大学の学生ボランティアを活用し、千歳市内の公立小中学校における休日や長期休業中の学習支援体制を構築すると共に、きめ細かい指導による個々の児童生徒のつまずき解消・学習意欲の向上・学習習慣の形成など、学力向上を目指している。大学生ボランティアの対象条件は教職課程を取っているいないに関わらずOKなのだが、実際は9割が教職課程をとっている学生によって構成されているそうだ。ボランティアを希望する学生は千歳市教育委員会が行う事前研修を受講した後各学校に派遣されるが、研修は一度きりで注意事項程度、この研修で不向きとされた学生は今までいないとのこと。このボランティアによって単位がもらえる等の仕組みはないが、教育実習前に実際の現場で学べる機会があるということで、教職課程の学生達は非常に積極的に取り組んでいるようだった。なお、学生ボランティアには交通費相当額として一日あたり1500円のみが千歳市から支給される。派遣のスケジュールとしては、たとえば夏休みの派遣希望の場合、4月に教育委員会が大学側に日程や内容について相談し、5月に学習サポート実施に向けての取り組みの調整、7月に教育委員会から学校に派遣の決定連絡があり8月に実施･･･という流れ。1校あたり2～5名の派遣があり、今回実際に派遣の様子を拝見した千歳市立向陽台小学校は2人の派遣体制であった。学校側は派遣される学生の日程にも合わせ学習サポート日を決め（向陽台小では3日間）学習サポート実施のお知らせを配布し、希望者のみが受講するかたちだ。学習に使う教材は参加自動が持参し、それぞれの希望科目や内容に合わせてサポートが受けられる。小学校では宿題などのサポート的なやり方が多いが、中学校ではティーチングアシスタントやティームティーチング的なやり方を実施している学校もあるそう。どのような形で実施するかは各学校の裁量に任されている。また、学習サポートを行うかどうかも学校の裁量で、本年度は市内小学校17校のうち10校が参加。不参加の理由としては、遠方からスクールバスで通う生徒の多い所は物理的に実施できない（長期休暇中はスクールバスがないため）などがあげられる。このように、実施するしないは学校の裁量次第で、参加するしないは児童の希望次第なので、せっかくの素晴らしい取り組みだが、本来学習が必

要な児童ほどなかなか参加しないという傾向は避けられないとのこと。学習意欲のある子ほど積極的に参加している、学習意欲が無く成績もかんばしくない児童は参加しないという実情を改善していきたいと先生は憂慮していらっしゃいましたが、親の考え方もあるため強制はできないのがもどかしい所である。さて、今回ありがたいことに実際学習サポートが行われている現場を拝見することができた。1クラスに15人ほど児童がおり、学校の先生1人と学生ボランティアの方が1人、計2人で児童をサポートしていた。学生ボランティアは児童が解いたプリントに丸付けをしてあげており、何か分からない箇所が出てきた児童が「分からないです！」と声をかけると席まで行って丁寧に教えてあげていた。教え方が非常に上手で、たとえば「草木」という感じの読み方が分からないと相談してきた児童には「そうもくって読むんだよ」と教えるのではなく、「一つ一つを読んでごらん？草は？」「生徒：くさ！」「じゃあ木は？」「生徒：き！」「じゃあ一つ読み方が分かってるから漢字字典でその漢字を探してごらん？他の読み方が載ってるよ」という風に、ただ教えるのではなく、自分で調べ考えるやり方をしっかりと伝授してあげており、その安定した風格は現役の先生かと思うほどだった。児童も学生ボランティアの方を非常に信頼しているのが伝わってきて、皆真面目に学習に取り組む様子は非常に素晴らしいと思った。学習サポート終了後学生ボランティアの方にお話を伺える機会があったのだが、その方はもう3回目のボランティアだそうで、とても上手な教え方の秘訣を尋ねたところ、最初はどう教えていいか分からなかった部分もあったが、現場を経験する中で模索してスキルアップをしていったんだと思う。とのお話を聞き、この事業が小中学生にとっても、大学生にとっても意義深く、お互いに良い効果を生み出しているなと感じた。歳の近い大学生が教えてくれるということは小中学生にとっても親近感ややる気がわくものであり、こういった双方にメリットのある連携はぜひ北区も真似していきたいと思いました。